

# 令和7年度 事業報告

---

— 「館林市社会福祉協議会第七次地域福祉活動計画」基本理念 —

つながり つなぐ 助け合いで 共に生きるまち 館林

---

# 令和7年度 第七次地域福祉活動計画に基づく事業報告総括表

## I 地域のつながりづくり

---

### ■成果

従来から実施している「ふれあいいいきサロン」や「通いの場」、ひきこもり当事者・家族の交流の場である「ひきこもりサロン」を引き続き支援するとともに、新規事業として障がい児者の保護者を対象とした「手をつなぐサロン」を定期開催（毎月第一水曜日）するとともに、子育て親子の交流を目的とした「わくわくマルシェ」を5月と2月に開催し、地域の居場所の創出を図りました。

さらに、子どもの居場所づくりを円滑に進めるため、行政や子育て支援に取り組むNPO法人など関係機関との情報共有を目的とした「こどもの居場所づくり協議会」を開催しました。

加えて、市内の小中学校および特別支援学校において、総合的な学習の時間等を活用した「福祉教育」を通して、児童生徒の福祉への理解促進を図ることができました。

### ■課題と今後の展開

地域における居場所づくりについては、利用者の固定化や減少、担い手の高齢化や減少等の課題が確認されています。このため、効果的な周知方法の検討を進めるとともに、ボランティアによる運営も視野に入れながら、ボランティアセンターとの連携強化が今後の課題と考えます。

また、「福祉教育」の推進に関しては、地域とのつながりを重視した教育内容の充実が必要となりますので、学校との連携を一層強化し、より質の高い福祉教育の実践に向けて協議を進めてまいります。

## II 地域の助け合い、支えあいづくり

---

### ■成果

第六次地域福祉活動計画より継続して重点事業として位置付けている生活支援体制整備事業を推進しました。市全体の生活支援体制を整備する1層生活支援コ

ーディネーター(SC)と、地域課題を把握し、具体的な支えあい活動を展開する2層 SC(支部長)が2ヶ月に1回集まり、地域課題について情報を共有しました。また、災害ボランティアセンター設置訓練研修会への参加、支部役員間の関係構築、地域での活動の参考となる講習会の開催等を通じ、地域共生社会の実現に向けた体制強化を図りました。

新たに、ボランティアセンターの機能強化の一環として、ボランティア活動者に対し「ボランティア証明書」を発行したことで、特に学生にとってボランティア活動参加の契機となり、ボランティア登録者および活動者の増加につながりました。

### ■課題と今後の展開

地域課題に即した具体的な事業展開を進めるためには、事業に対する理解の深化を図るとともに、生活支援コーディネーター同士の連携強化を図ります。

また、ふれあいサービスやファミリー・サポート・センター等の住民参加型福祉サービスでは、利用ニーズが増加傾向にありますが、支援者不足・減少が課題となり、今後は支援者を養成する講座の開催にあたり、実施時期(実施時間)の見直しや SNS などを活用した周知方法の改善を図り、支援者確保に向けた取組を強化してまいります。

ボランティア活動全般においても、活動希望者は増加傾向にあるものの、受入れ先の開拓が十分に進んでいないことが本市の課題であるため、ボランティアニーズの把握、需給調整の強化や、ニーズにあったボランティアの育成、ボランティア希望者が活動できる場の拡大を図ってまいります。

## Ⅲ 地域課題を解決できる体制づくり

### ■成果

福祉に関する相談の受け皿として「ふくし総合相談窓口」を開設するとともに、子どもに関する相談全般を受け付ける「子どもの総合相談窓口」を設置し、複数の相談体制を整備しました。これにより、困難を抱える住民の悩みや課題を早期に把握し、相談者が問題を抱え込むことのないよう、必要な制度や支援につなぐ入口として機能させることができました。また、関係機関との連携を強化し、支援先の選択肢を拡充することができました。

福祉サービスの充実においては、住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、紙おむつ等給付事業、寝具乾燥殺菌事業、配食サービスなどの高齢者向けサービスを実施したほか、手話通訳者・要約筆記者派遣事業等による聴覚障がい者のコミュニケーション支援も展開しました。

また、高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう高齢者の在宅生活に不可欠な「訪問介護」「通所介護」「居宅介護支援」の介護保険3事業のサービスを提供しました。

また、看護学校実習生の受入れを行い、次世代の福祉人材育成にも取り組みました。

#### ■課題と今後の展開

相談窓口の周知不足が依然として課題となっており、必要な時に相談窓口を適切に活用できるよう、広報および SNS などを活用した周知等の啓発活動を強化し、相談体制のさらなる充実を図ってまいります。

また、介護保険3事業については職員の人材不足や入院・入所による利用者の減少など財政的に厳しい状況にあるものの、高齢者の在宅生活を支援するうえで、社会福祉協議会が担う意義は大きいと捉えています。今後は財政面との調整を図りながら、事業の継続および実施方法について慎重に検討を進めてまいります。

## IV安全・安心して生活できる環境づくり

---

#### ■成果

地域の権利擁護および成年後見制度の推進を担う中核機関として、隔年で実施している市民後見人養成講座を開催し3名が修了しました。館林市における権利擁護体制の充実に向けた支援者の育成を進めました。また、既受講を修了した方を対象にフォローアップ研修を実施し、継続的な資質向上を図りました。これらの取組を通じ、身寄りのない高齢者支援の必要性についても把握することができました。

生活困窮者支援においては、相談者の実情に応じてフードドライブによる食料支援を6月、10月、2月の年3回実施し、生活福祉金貸付事業の相談や貸付申請を随時受け付け、生活再建に向けた支援を行いました。

さらに、防災体制の充実を図るため、「災害ボランティアセンター設置訓練」や「避難所運営訓練」を実施し、有事の際の対応力向上に向けた学びを深めました。

#### ■課題と今後の展開

新たに顕在化している「身寄りのない高齢者支援」に対応するため、引き続き支援策の検討および先進地の対応方法の模索を進めてまいります。

また、防災体制の一層の充実を図るためには、多世代が関心を持ち、参加しやすい内容となるよう研修・訓練の在り方を検討していくとともに災害時に地域を支える災害ボランティアの養成にも引き続き取り組み、地域防災力を向上してまいります。

## V 社協

---

社会福祉協議会の事業運営にあたり、理事会および評議員会を適正に開催し、必要な協議を重ねることで、組織運営の適正化を図ることができました。また、総合福祉センターの指定管理者として、安全かつ適正な施設運営に努め、利用者が安心して利用できる環境整備を進めました。

特に総合福祉センターを活用した交流事業「うたごえ広場」には、多くの地域住民に参加いただき、歌を通じた交流の場として定着しておりますので、今後は新たな事業を展開し、地域住民のつながりの場を創出してまいります。

# I 地域のつながりづくり

## (1)居場所づくり支援・強化

近所付き合いが希薄化し、子ども会や老人クラブなどの地域活動が減少傾向にあるため、地域のつながりづくりに向け、ふれあい・いきいきサロン等による交流の場や居場所づくりを推進し、近所付き合いの機会や趣味・生きがいを通じた交流や地域課題の把握します。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ●ふれあい・いきいきサロン	地域福祉の充実を図るため、地域住民が主体となりふれあいの場を設け、交流活動の支援をする。	サロンを通じてのふれあいの場が定着し、地域住民による自主的・自発的な交流の輪が広がっている。	高齢化により参加者が減少していることから、増加につながるような運営の工夫が必要である。	通年	設置数 39 か所	設置数 新規 廃止・休止 登録者数(参加者+世話人) 39 か所 2 か所 3 か所 908 名
② ◆通いの場	地域の高齢者が身近な場所で、介護予防に取り組む居場所づくりを目的とする。	実績報告や補助金申請書類の様式整理を行い、提出先を社協でも市役所でも可能としたことで、代表者から提出しやすくなったと声があった。	高齢化に伴う参加者数の減少を理由に廃止となる団体が多い。活動場所及び参加者が増えるよう支援する必要がある。	通年	設置数 38 か所	設置数 新規 廃止・休止 38 か所 1 か所 2 か所
③ ◆ひきこもりサロン (重層的支援体制構築事業) (参加支援)	ひきこもり当事者やそのご家族等の情報共有の場、互いの悩みを相談できる場として開催。	サロンを通じた同じ立場での悩みを共有。参加人数が少ない際は個別で対応をおこない、相談を共有した。	参加者が減少傾向にあるため、周知活動をおこなう必要がある。	毎月 第3金曜日	参加者 18 名	開催回数 参加者 当事者 家族等 11 回 8 名 10 名
④ ●手をつなぐサロン  R7重点事業	障がい児者とその家族に必要な情報提供や共有の場となるサロンを開催。	「障がい児者を養育する親」という同じ立場で、団体を区別せずに交流できる場所として有意義な居場所となっている。	参加者が定例化してきているため、新たなかたにも居場所を知っていただくために周知活動を行う必要がある。	毎月 第2水曜日	参加者 101 名	開催回数 参加者 12 回 101 名
⑤ ◆子育て支援センターわくわくらんど	子育て親子の交流の場の提供をする。子育て等に関する相談の実施。	支援センターを利用し、イベント等に参加していく中で利用者同士が皆一緒に楽しめる場になっている。支援センター以外の場所でも、高齢者と交流する機会も増え良い経験になった。	季節行事は他の支援センターの兼ね合いを考慮する必要がある。支援センターをまだ利用したことがない方に向けての案内方法を検討していく。	通年	利用者 4,366 名	●利用実績 月  子ども  大人  合計  登録 4  203  184  387  27 5  164  162  326  9 6  191  169  360  4 7  205  186  391  9 8  118  109  227  2 9  159  147  306  10 10  289  256  545  9 11  172  156  328  5 12  215  197  412  5 1  167  151  318  3 2  178  169  347  3 3  221  198  419  5 合計  2,282  2,084  4,366  91
⑥ ◆こどもの居場所づくり協議会 (子どもの総合相談窓口事業)	子どもの居場所づくりに対して円滑な運営、情報収集が行えるよう協議会を開催。	子どもの居場所づくりに関わる団体が集まり、ネットワーク作りや情報共有の場として活用できた。	各団体の実施内容に特化したネットワーク作りや支援方法を検討していく。	実施日 10月30日(木)  3月5日(木)	参加者 13 名	第1回 ・団体紹介 ・意見交換、情報交換 参加者 15 団体 9 名 第2回 ・子ども食堂のネットワーク作りについて ・中高生の居場所作りについて 参加者 10 団体 4 名

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
⑥ ●◆★ふれあい通りや売店を利用した居場所づくり交流事業  R7重点事業	市民相互のふれあい・健康増進・生きがいづくりの拠点「総合福祉センター」を運営し地域のつながりを増進する。	子育て中の方々の楽しい交流の場になり、普段と違い家族で参加出来るイベントとなった。	出店に子どもが楽しめるものを増やせるよう出店募集を考える。	実施日 5月24日(土)	参加者 230名	わくわくマルシェ(第1回) 出店数 11 店舗 参加者 230名
				実施日 11時1日(土)	参加者 180名	わくわくマルシェ(第2回) 出店数 9 店舗 参加者 180名
		多くの参加者が定着し、集いの場となっている。歌を通して地域高齢者の交流の場となった。	男性の参加者が1割未満であるため、男性の方でも参加しやすい環境と整える必要がある。	第2・4木曜日	参加者 1,730名	うたごえ広場 参加者 1730名

## (2)情報共有の充実・強化

福祉に関する情報共有を推進し、福祉活動への意識を高め、参加のきっかけづくりになるよう、誰にでもわかりやすい情報共有並びに発信を行います。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ●社協だより	市民に向け、社協で取り組む地域福祉活動やボランティア活動の紹介等、福祉の情報発信をする。	事業紹介や報告など社協の取組みについて各事業の周知に繋げることができた。	地域の方々に興味を持って見てもらい社協を知ってもらうような紙面構成の充実を図る必要がある。	発行日 R7.4.25  R7.7.1  R7.9.1  R7.10.31  R7.12.25	発行回数 5回	内容 5月号 令和7年度事業計画・予算 他 7月号 令和6年度事業決算報告、法人会費 他 9月号 福祉まつり開催案内、介護川柳募集 他 11月号 福祉まつり報告、赤い羽根街頭募金報告 他 1月号 新年あいさつ、社協表彰報告 他
② ◆点字広報・声の広報発行事業	視覚障がい者へ広報館林や社協だよりを録音し送付する。	視覚障がいのある方達に録音した音声や点字図書を提供することによって本当に必要としている方達の安心感に繋がっている。	声の広報と点字の普及が足りていない状況。HPや社協だよりで周知が必要である。	通年	発行回数 32回	内容 広報たてばやし 12回 市議会だより 2回 社協だより 12回 その他 2回 (情報誌かるがも・点字JBコース) 点字図書貸出 0回 点字依頼文書 4回
③ ●ホームページ等による情報発信	地域福祉に関する情報発信を行う。	情報発信の他、各種申請書等のデータ活用に繋げることができた。	最新情報等の更新頻度が少ないため、適宜更新できるよう取組む。	通年	閲覧数 28,895件	ホームページ サイト訪問数 28,895件 ページ閲覧数 51,529件 X(旧Twitter)
④ ▲福祉まつり	子どもからお年寄り、障がいをお持ちのかたや市内地域福祉向上のため活動している団体の方々が一堂に会し、福祉まつりを開催する。	福祉まつりを開催するにあたり、子どもからお年寄り、障がいをお持ちの方、市内在住の方達に対して、チラシやHP、公式X等を通して幅広く周知することができた。	福祉まつりが他のイベント重なりキッチンカーの出店がいつもより少なかった。	実施日 R7.10.4	参加者 1,395名	内容 ・芸能発表の広場 16 団体 178名 ・社協の広場 300名 ・模擬店、即売の広場 409名 (出展団体 13 団体) (キッチンカー 3 店舗) ・遊びの広場 367名 (協力団体 5 団体) ・スタンプラリー 141名

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
⑤ ◆ふれあいスポーツ大会	日頃スポーツに接することの少ない高齢者や障がい者等が一堂に会し、スポーツを通してふれあいと相互理解を深め、健康づくりを行う。					
令和7年度体育館工事のため中止						
⑥ ●マスコットキャラクター活用	福祉まつり等の行事に参加し、社協のPR及び福祉を身近に感じていただくきっかけとする。	マスコットキャラクターが各イベントに参加することにより、館林市社協のPRに繋がる。	貸出数が個人での依頼が多く、施設等からも増えていくことが望ましい。	通年	貸出数 6回	た〜ん参加回数 2回 た〜ん貸出回数 4回
⑦ ◆情報共有（二層・三層協議体） （生活支援体制整備事業） R7重点事業	二層・三層協議体活動の情報共有を行い、福祉活動への意識を高める。					
※生活支援体制整備事業 実績に含む						
⑧ ●一般会費	一口500円を会費として市内全世帯へ協力依頼し、そのうち、300円を支部社協へ交付する。	使途についてチラシを作成し配布したことで、社協の事業内容を周知することができた。	多くの住民に、会費の使途を理解いただくことが必要である。	6/1～30	納入世帯 18,682世帯	実績 納入世帯 18,682世帯 納入金額 9,346,701円 ※ 依頼世帯 28,218世帯
⑨ ●法人会費	1口1,000円とし3口以上の協力を市内法人へ依頼する。	使途についてチラシを作成し配布したことで、社協の事業内容を周知することができた。	市内法人数と経営状況の把握が必要である。	5/1～30	納入法人 594社	実績 納入法人 594社 納入金額 1,793,000円 ※ 依頼法人 653社
⑩ ●企画委員会	地域福祉活動を展開するニーズの調査研究及び地域福祉活動計画に関する事項の協議検討する。	第七次地域福祉活動計画や社協実施事業について協議することができた。	社協事業に対する理解を深めていただくこと、会議内で意見を出しやすい環境づくりが必要である。	実施日 R7.7.3 R8.2.16	参加者 30名	内容 第1回 14名 ・ 委員長の互選 ・ 第七次地域福祉活動計画について ・ 令和7年度事業計画について 第2回 16名 ・ 令和8年度事業計画（案）について ・ 第七次地域福祉活動計画進捗評価について
⑪ ●財政委員会	経営改善計画の審査及び補助金交付審査を行う。	決算予算の説明を行ったほか、経営改善計画の進捗状況を報告し、補助金の適正交付について審査した。	経営改善計画の状況を点検する必要がある。説明や資料で、専門的な知識のない委員への配慮が必要である。	実施日 R7.7.2 R8.2.24	参加者 32名	内容 第1回 18名 ・ 令和6年度決算のあらまし ・ 令和7年度予算のあらまし ・ 補助金交付審査 第2回 14名 ・ 令和7年度決算見込みについて ・ 令和8年度予算見込みについて
⑫ ●広報委員会	社協だより発行にあたり記事の提供依頼と原稿の校正を行う。	校正について適切な表現や言い回しなど詳細まで確認し、全体を通じての統一化を図り修正することができた。	市民の方でもわかる表現方法などの柔軟性を持ち、社協や各事業について知らない方でもわかるような表現との線引きについて検討する必要がある。	実施日 R7.4.2 R7.6.2 R7.8.4 R7.10.1 R7.11.25	参加者 49名	内容 第1回 9名 ・ 委嘱状交付、役員選任、5月号について 第2回 9名 ・ 社協だより7月号について 第3回 11名 ・ 社協だより9月号について 第4回 10名 ・ 社協だより11月号について 第5回 10名 ・ 社協だより1月号について

### (3) 福祉教育の推進

小中学校や中学校の総合的な学習の時間や地域内での福祉教育を推進し、福祉を学ぶ機会を提供します。学校と地域とのつながりのある福祉教育を企画し、次世代の担い手育成に努め、思いやりの心を育てます。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ●福祉教育の推進 R7重点事業	社協職員・各種活動団体会員が要請のあった学校へ出向き福祉教育体験を提供する。	今年度より開始した福祉講話を実施し、それを通じて福祉教育を行うことが出来た。	各団体との連絡調整が難しく、学校側の希望に添えない場合があった。	通年	支援件数 34 件 参加者 2,531 名	車イス体験学習 7 件 469 名 手話体験 12 件 977 名 点字体験 6 件 539 名 ブライントーク体験 2 件 85 名 介護体験 6 件 417 名 福祉講話 1 件 44 名
② ▲■福祉協力指定校、継続校助成金交付	福祉協力校（継続校）として福祉教育を推進する学校に対し、助成金を交付する	多々良中学校が福祉協力校となり、社協の様々な事業に協力してもらうことができた。	教員の理解度や担当者の異動により取り組みの質に差がある	通年	協力校 1 校 継続校 16 校	福祉協力指定校 100,000 円 中学校 1 校 (学校名) 多々良中学校 継続校 320,000 円 小学校 11 校 中学校 4 校 高等学校 1 校

## II 地域の助け合い、支え合いづくり

### (1) 社協支部活動支援・強化

地域福祉活動や地域づくりへの関心を高めてもらえるよう、生活支援体制整備事業を展開し、支え合い協議体である社協支部活動を推進するとともに、地域福祉活動全般における担い手養成を行います。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ◆生活支援体制整備事業 R7重点事業	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるように住民主体の活動や各種団体等の多様なサービス提供体制を構築し、ネットワーク体制を構築する。	1層協議体時に目的を持って会議を開催するため今年度より、1層と行政担当にて開催前に打合せを行い、適切な情報を2層へ繋げることができた。	支部によって地域の実情は違うが、取組み等についても差があるため、各支部のニーズにあった展開ができるよう、SC間での連携強化及び事業について改めて理解してもらえる場を設ける必要がある。	通年	第1層 6 回 110 名 第2層 29 回 724 名	地域福祉活動推進会議 第1層 6 回 110 名 第2層 館林支部 6 回 161 名 第三支部 3 回 73 名 第四支部 6 回 94 名 第五支部 3 回 93 名 第六支部 2 回 69 名 第七支部 2 回 45 名 第八支部 2 回 37 名 第九支部 5 回 152 名
② ●社協支部長会議	社協支部の代表者により、法人の事業運営に関する会議を開催する。	社会福祉法人法改正により、理事会開催回数が制限されたため、隔月で支部長会議を開催し意思疎通とともに業務執行の適正化を図っている。	継続的な実施により、本会との連携を深めスムーズな業務遂行に繋げる。	開催日 R7.4.10 R7.6.12 R7.8.7 R7.10.9	参加者 56 名	4月期 20 名 支部代表理事の選出について 地域づくり活性化事業交付金 生活支援体制整備事業取り組み状況について 6月期 18 名 第1回理事会結果について 地域福祉功労者の推薦依頼について 生活支援体制整備事業取り組み状況について 8月期 18 名 社協会費の集金結果及び支部交付金について 第41回福祉まつりについて 生活支援体制整備事業取り組み状況について 10月期 18 名 第3回理事会開催内容 社会福祉協議会表彰式介護川柳表彰式 生活支援体制整備事業取り組み状況について

				R7.12.11		12月期 法人募金(会費)の対応について 年末年始の業務内容 生活支援体制整備事業取り組み状況について	18名
				R8.2.12		2月期 各種委員の推薦依頼について 支部活動の紹介記事の作成依頼について 生活支援体制整備事業取り組み状況について	18名
③ ●社協支部視察研修	社協支部の充実強化を図るため、先進地の調査研究を行う。	障がいを持つかたがどのような思いをしているか、それに対する配慮など共通理解を図ることができた。	設備などは目に見えるが、人の心のバリアフリーは個人の内面となるため難しい。	実施日 R8.1.21	参加者 7名	研修内容 対話こそ共生社会を拓くカギ ～全盲弁護士障害者差別解消法を語る～ 講師 大胡田 誠 弁護士 場所 群馬県社会福祉総合センター 参加者 7名	
④ ●社協支部役員研修会	地域共生社会の実現を図るための研修会を開催する。	支部役員間の顔の見える関係性の構築、地域での取組みにおける参考になるよう開催できた。	研修内容について地域のニーズに合った内容の検討が必要。	実施日	参加者 64名	研修内容 「経験したことない大雨。その時どうする？」 講師 前橋地方気象台 藤田 哲防災管理官 場所 館林市文化会館 小ホール 参加者 64名	
⑤ ●社協支部助成事業	社協支部の活動を支援するため、一般会費及び法人会費の納入実績に応じて助成金を交付する。	適正な助成金交付ができた。	行政区への交付金と、支部社協活動への交付金の区別を理解いただく必要がある。	交付日 R7.8.20	交付 8支部	支部数 8支部 交付額 5,694,850円	

## (2) ボランティアセンター機能強化

地域福祉活動を推進する人材の育成のため、ボランティアニーズの発掘やコーディネート機能の強化、情報発信を行い、ボランティアセンターの機能を強化していきます。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ▲ボランティアセンター運営委員会	住民福祉の高揚とボランティア活動の振興を図るため、ボランティア活動の啓発・普及・情報提供や団体等と連絡調整を行う。	事業計画協議及び交付金審査ができ、館林市におけるボランティア状況を共有できた。	委員間での協力体制を構築し、情報共有していく必要がある。またボランティアの受入れ先が少なく、関係機関と連携強化が必要である。	実施日 R7.6.30  R8.3.3	参加者 27名	第1回 13名 ・委嘱状交付 ・委員長、副委員長選任 ・ボランティアセンター事業計画(案)について ・ボランティア団体活動補助金交付審査(案)について ・社会福祉協力校連携事業補助金交付審査(案)について 第2回 14名 ・委嘱状交付 ・令和7年度運営状況報告について ・令和8年度運営協議について
② ▲ボランティア活動需給調整  R7重点事業	ボランティア活動希望者と受け入れ希望先のマッチングを行う。	今年度よりボランティア活動証明書を発行でき、ボランティアがしたいという登録者が増えた。	被災地のボランティアに参加したいという方が多く、今後紹介できるネットワーク構築が大切。	通年	登録者 46名	ボランティア登録者 46名 (新規登録者 7名) ボランティア活動相談件数 13件 ボランティア活動調整件数 5件
③ ▲ボランティア活動保険	ボランティア活動を行う団体・個人に対して、保険加入を支援する。	ボランティア保険加入希望者に対し、適切な加入手続きを行った。	ボランティア保険の周知及び加入促進を図ることが必要である。	通年	加入者 1,650名	・ボランティア活動保険加入 団体加入 35団体 1,137名 個人加入 13名 ・社協ボランティア保険加入 500名

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
④ ▲ボランティア養成講座	地域福祉活動を担う人材育成のため、変化するボランティアニーズに応じた講座を実施する。	各地区の方達が集まりハザードマップを基に、実際に災害が起きた時の備えを共有することができた。	ボランティアスクールと兼ねて開催をしたが、小中学生への関心が少なかった。	実施日 R7.11.15	参加者 70名	内容 「経験したことない大雨 その時どうする？」 場所 館林市文化会館小ホール 参加者 70名
⑤ ▲小中学生ボランティアスクール	年2回ボランティアスクールを実施し、児童生徒のボランティア養成を行う。	ボランティア団体と連携し、小中学生に関心を持っていただけるよう企画立案をすることができた。	中学生の参加が少ない事。今後中学生が参加しやすいようボランティアスクールに日程や回数についても協議が必要である。	実施日 R7.8.5  実施日 R7.11.15	参加者 21名	第1回 20名 (小学生 20名・中学生 0名) 《内容》 音訳・朗読ボランティア について学ぼうというテーマでCD作成をする。 第2回 1名 (小学生 1名・中学生 0名) 《内容》 「経験したことない大雨 その時どうする？」 ※ボランティア養成講座と併せて実施
⑥ ◆手話奉仕員養成講座	手話の基本技術を学び、聴覚障がい者に対する理解を深めるとともに奉仕員を目指す講座を開催する。	今年度より新テキストに変更となったが、講師の方々と協力し、無事に実施することができた。	受講修了後、次のステップである手話通訳者養成講座に繋がらない。チラシ等で周知が必要である。	実施日 (入門・基礎) 6/5～11/26 (フォローアップ) 1/14～2/18	参加者 44名	入門編 22名 基礎編 5名 フォローアップ 17名
⑦ ◆介護支援ボランティア	高齢者がボランティア活動を通して地域貢献することを支援し、高齢者自身の介護予防を推進する。	市主催の研修会などを通して、介護支援ボランティアについての認知を広め、登録者が増加した。	令和8年度より介護事業所によるボランティアが開始されるため、それに備える。	通年	登録者 85名	登録者数 65歳以上 79名 65歳未満 6名 ※うち新規 5名
⑦ ◆介護支援ボランティア事後研修	介護支援ボランティアのスキルアップを目的とした研修や情報交換・交流会を実施する。	研修を2回開催し、介護支援ボランティアのスキルアップを図ることができた。	研修会を半期に1回程度に開催できるようになる必要がある。また、参加する方が定例化しているため、内容についても検討し、多くのかたに参加してもらう工夫が必要。	実施日 R7.12.15  R8.2.27	参加者 38名	第1回 内容 地域で支える認知症 講師 日本赤十字社群馬県支部 林 登美男様 参加者 24名 第2回 内容 高齢期に起こりやすい 事故の予防と対応 講師 日本赤十字社群馬県支部 林 登美男様 参加者 14名
⑦ ▲ボランティアセンターだより発行	ボランティア活動の啓発や情報提供を行うため、年1回ボランティアセンターだよりを発行する。	館林市ボランティアサークル連絡会ほほえみの紹介をし、活動団体のPRを行うことができた。	今後は回覧だけではなく、より多くの人達に見ていただける取り組みが必要である。	発行日 R8.2.1	発行部数 3,300部	市内回覧 発行部数 3300部 内容 館林市ボランティアセンターだより ・災害ボランティア養成講座 ・手話奉仕員養成講座 ・ほほえみの紹介

### (3)住民参加型活動の強化

地域での助け合いや支え合いを活発にし、地域のネットワーク活動を充実させるため、住民参加型活動を強化します。また、これらの活動を活発にするために積極的な情報発信や講座を実施します。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績						
① ●◆ふれあいサービス ※産前産後のみ市受託事業	空いている時間を使って、手助けを必要としている方を支える有償の日常支援サービスを提供する。	介護保険サービスでは利用できない範囲を補うことができた。また、産前産後の新規登録者、相談件数が増えている。	ふれあいサービスの新規登録者や相談件数が減少しているため周知活動が必要。	●ふれあいサービス利用状況								
				月	新規登録	相談件数	利用件数	実活動者	利用時間	実利用者	チケット 売上実績 利用料	
				4	1	0	25	6	29	11	14,600	17,500
				5	0	0	22	5	25	6	12,600	15,100
				6	0	0	28	6	30	10	15,500	18,550
				7	0	0	22	7	26	10	13,100	15,700
				8	0	0	19	6	24	8	12,100	14,500
				9	0	1	12	7	14.5	8	7,600	9,100
				10	0	0	19	5	22	8	11,100	13,300
				11	0	0	14	6	15	5	7,600	9,100
				12	0	0	20	7	27	10	13,600	16,300
				1	0	0	15	6	17	7	8,600	10,300
				2	0	0	17	7	23	9	11,600	13,900
				3	0	0	19	6	27	8	13,600	16,300
				計	1	1	232	74	279.5	100	141,600	169,650
				◆産前産後サポーター利用状況								
				月	新規登録	相談件数	利用件数	実活動者	利用時間	実利用者	チケット 売上実績 利用料	
				4	0	1	9	3	12	4	7,200	6,000
				5	1	0	6	1	9	2	5,400	4,500
				6	1	0	10	1	11	2	6,600	5,500
				7	1	0	1	1	2	1	1,200	1,000
				8	1	0	4	2	8	2	4,800	4,000
				9	0	0	3	2	6	2	3,600	3,000
				10	1	0	0	0	0	0	0	0
				11	0	0	2	1	3	1	1,800	1,500
				12	2	3	5	2	10	2	6,000	5,000
				1	1	1	2	1	4	1	2,400	2,000
2	0	2	4	2	8	2	4,800	4,000				
3	0	1	1	1	2	1	1,200	1,000				
計	8	8	47	17	75	20	45,000	37,500				
② ●ふれあいサービス 会員養成講座	有償の日常支援サービスを提供するふれあいサービスを養成する。	介護支援ボランティアの登録者にも案内し、新規7名に登録いただいた。	養成講座の登録者は毎年一定数いるが、ふれあいサービスの利用者が減少しており繋げることが難しい状況。周知活動をおこなう。	実施日 2月6日(金)	参加者 12名	内容 ・子どもへの心肺蘇生法とAEDの使い方 ・整理整頓のテクニック ・住民参加型在宅福祉サービスについて 講師 館林消防署 救急救命士 整理収納アドバイザー 廣瀬由美子様 参加者 12名						
③ ★ファミリー・サポート・センター事業	育児援助を受けたい方と行いたい方がそれぞれ会員となり、地域での子育て支援を行う。	ひとり親家庭や発達障がい者へのサポート相談が増えた	まかせて会員を増やす	通年	派遣件数 787件	派遣件数 787件 おねがい会員登録者 254名 (内新規登録者数 28名) まかせて会員登録者 71名 (内新規登録者数 3名) どっちも会員登録者 4名 (内新規登録者数 0名)						

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
④ ★まかせて会員養成講座(ファミリー・サポート・センター)	育児の援助を行う「まかせて会員」の養成を行う。	フォローアップ受講として現まかせて会員の参加が得られた	新規まかせて会員受講者を増やすための周知活動を検討していく	実施日 10月20・21 22・23・24	参加者 2名	内容 ・子どもの事故と安全 ・障がいのある子の預かり ・身体の発育と病気・小児看護の基礎知識 ・緊急救命講習 ・子どもの栄養と食生活 ・子どもの遊び・保育の心と子どもの世話 参加者 2名 登録者 2名
⑤ ●NPO法人連絡会	会員相互の交流による活動の充実強化及び地位向上を図り、市内で活動するNPO法人が連携・協働して地域への社会貢献を果たす。	定期的に集まり、各団体の状況把握をおこなうことができた。	登録団体が減少傾向にあるため、周知活動を検討していく。	実施日 R7.4.10 R7.5.9 R7.6.26  R7.7.31 R7.9.19 R8.3.12	参加者 64名	・第1回役員会 12名 ・第2回役員会 13名 ・定期総会 16名 R6年度事業、決算報告 R7年度事業計画案、予算案 ・第3回役員会 7名 ・第4回役員会 12名 ・第5回役員会 4名
⑥ ▲社会福祉法人連絡会	地域の福祉課題の解決に向けた公益活動の推進や法人機能の向上を図るとともに、連絡調整や課題の共有及び解決への協議を行う。	実施なし	連絡会の開催がないため、連携ができていない。次年度からは地域の実情をふまえ、連携できることを模索し、会議開催を行う必要がある。	未実施		
⑦ ▲買い物支援サービス	免許返納等により移動手段がなく買い物に困っている高齢者の食を守るため、買い物支援を行う。	高齢者が移動に負担を感じずに買い物ができるよう移動販売車の活用を継続できた。	地域のニーズを確認し、支援体制の検討が必要。	通年	実施 6か所	●実施地区 移動販売車活用による買い物支援 第三支部 (若宮町) 第四支部 (岡里地区・大島地区) 第五支部 (羽附旭町・上赤生田町) 第七支部
⑧ ●社協支部活動活性化助成金交付	支部活動助成金を助成する。	助成金審査を実施し適切に交付できた。	特になし	交付日 R7.6.20 R7.9.22	交付額 280,000円	申請 7支部 ※1支部 40,000円
⑨ ●民生委員児童委員協議会助成金交付	民生委員児童委員活動助成金を交付する。	助成金審査を実施し適切に交付できた。	特になし	交付日 R7.7.22	交付額 641,000円	市民児協 1か所 180,000円 地区民児協 10か所 461,000円
⑩ ●ボランティア団体助成金交付	ボランティア活動助成金を助成する。	助成金審査を実施し適切に交付できた。	審査によっては減額の対象となる団体があること。	交付日 R7.7.20	交付額 210,844円	ボランティア団体 6団体 (交付額 190,844円) 子ども会育成団体連絡協議会 (交付額 20,000円)
⑪ ●福祉団体助成金交付	福祉団体活動助成金を助成する。	助成金を円滑に交付できた。	特になし	交付日 R7.2.22	交付額 363,000円	福祉団体 4団体 (交付額 363,000円)
⑫ ▲ふれあいいきいきサロン活動助成金交付	ふれあいいきいきサロンに助成金を助成する。	助成により、地域住民による自主的・自発的な交流の輪が広がっている。	参加者の減少防止や増加につながるよう、事業内容の工夫が必要である。	交付日 R7.6.20 R8.4.20	交付額 615,000円	ふれあい・いきいきサロン 39団体 (15,000円 35団体 22,500円 4団体)

### Ⅲ 地域課題を解決できる体制づくり

#### (1) 相談・支援体制の充実

地域における身近な相談窓口として各種相談窓口を充実させ、必要な支援が必要な人につながる仕組みを整えます。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ◆ふくし総合相談窓口 (重層的支援体制構築事業)	地域住民のためのふくし総合相談窓口を開設し、地域の困りごとを一旦受け止め、必要に応じて適切な支援先につなげる。	ふくしに関する相談の受け皿として相談に応じた。窓口開設から数年経過し、つなぎ先の選択肢を増やすことができています。	相談窓口について少しずつ認知されてきたが、引き続き、広報や周知等の啓発活動が必要である。	通年	相談件数 567 件	ふくしの総合相談窓口 相談件数 567 件 相談者延数 555 名
② ◆こどもの総合相談窓口	地域の中で子供を支えていくための総合的な相談窓口として開設している。	子どもに関わる相談に対応。相談内容に応じて行政機関等、多機関と連携を取ることができた。	子どもの総合相談窓口の連絡先等の周知活動が必要と感じる。	通年	相談件数 13 件	子どもの総合相談窓口 相談件数 13 件 相談者延数 10 名 ランドセル寄贈 1 名 制服寄贈 0 名
③ ●法律相談	市民が日常生活で直面する法的諸問題に対し、専門家から適切な助言指導を行う無料相談を実施する。	市民が日常生活で直面する法的諸問題に対し、弁護士が専門的な立場から相談対応することができた。	待合室の混雑時、順番の把握がしやすいように番号札を作成する必要がある。	毎週火曜日	相談件数 261 件	家事事件 131 件 生活扶助 1 件 一般民事 73 件 その他 36 件 税務事件 1 件 DV事件 0 件 商事事件 0 件 労働事件 10 件 農地事件 2 件 刑事事件 3 件 借地家事件 4 件 〈登録弁護士 31 名〉
④ ●心配ごと相談	日常生活上のあらゆる悩み事や相談に人権擁護員・行政相談員・民生委員児童委員・学識経験者が無料で応じる相談。	相談員が丁寧に話を聴き、助言をおこない、さらに多機関の紹介につなげることができた。	利用経路が広報紙である場合が多いので、その他の周知方法も考える必要がある。	毎月 第1.3日曜日 第2.4火曜日	相談件数 18 件	家族 2 財産 3 結婚 0 離婚 1 事故 0 生計 2 住宅 0 苦情 0 借金 1 DV 0 年金 0 医療 0 健康衛生 0 人権・法律 2 精神保健 0 職業・生業 1 老人福祉 0 母子・父子 0 障がい福祉 0 その他 6 〈相談員数 96 名〉
⑤ ◆婚活応援相談	結婚を希望する独身男女に、人生のパートナー探しのお手伝いをする。	年二回の婚活パーティーと、婚活応援相談を通して市内のみならず、市外の方からも多くの問合せがあり、婚活応援相談の普及に繋がることができています。	女性の登録者が少ない。また登録してもすぐに退会してしまう人が多い。男性から女性にお見合いし断れられても何度も指名してしまう方がいる。	毎月 第2.4日曜日	来談者 58 名 連絡会 第3火曜日 参加者 31 名	登録者 58 名 (男性 44 名・女性 14 名) 来談者 58 名 相談・閲覧 54 名 見合い申し出件数 26 名 見合い実施件数 4 名 交際 2 名 成婚件数 1 名 〈相談員 13 名〉 婚活パーティー 1回目 内容 ビンゴゲーム、フリートーク 実施場所 館林市文化会館内 参加者 15 名 (男性 8 名・女性 7 名) (カップル 2 組) 2回目 内容 ボッチャーゲーム、フリートーク 実施場所 里沼リゾートHOTEL KOMORINU 参加者 16 名 (男性 8 名・女性 8 名) (カップル 2 組)

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
⑥ ◆地域包括支援センター（高齢者あんしん相談センター）	市町村・医療機関・サービス提供事業者・ボランティア等と連携し、介護予防や地域高齢者の様々な相談に応じたり、介護予防ケアプランの作成を行う。	地域包括ケア推進のため顔の見える関係づくりを実践してきた。	住民の地域包括支援センターの認知度は向上しているが業務の内容までの理解には結びついていない。今後も総合相談窓口としてきめ細かい対応を継続する必要がある。	通年	直管ケアプラン作成件数 831 件	ケアプラン作成件数 2,629 件 第1号介護予防支援事業(ケアプラン) 延べ 1,070 件 指定介護予防支援業務(ケアプラン) 延べ 1,559 件 総合相談事業 件 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業(地域ケア支援) 41 件 その他の事業 件 利用者基本情報作成 23 件 個別ケース検討会議 1 件 家族介護教室 1 件 出前講座 2 件
⑦ ●福祉サービス利用者苦情解決事業	本会提供の福祉サービス利用者からの苦情を解決することで、利用者の権利を擁護し、満足感を向上するよう支援する。	利用契約を締結する際には必ず、利用者や利用者家族へ制度の説明を行っている。	説明を行っても、契約者は制度があることを忘れてしまいがちであるため、継続的に制度の周知が必要である。	通年	申出件数 0 件	福祉サービス利用者苦情解決 申出件数 0 件 ≪ 第三者委員 2 名 ≫
⑧ ●個別相談会	総合福祉センターを拠点に福祉を総合的に相談できる場所の提供を行う。	個別で相談対応を行うため相談者との信頼関係が気づきやすい。	特定の方のみ来談し相談会を行うため、周知方法を改善する必要がある。	毎月第3金曜日	来談者 10 名	個別相談会 12 回 10 名

## (2)多機関協働事業強化

単独での解決が難しい事例に対し、多機関が協働して対応し、役割分担や支援の方向性を整理し、関係者間の円滑な連携及び支援体制の更なる構築を図ります。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ◆地域共生社会体制構築事業 (重層的支援体制整備事業)  R7重点事業	複雑化・複合化した課題や、既存の制度の狭間にある課題に対応するため、福祉分野の垣根を越えて包括的に支援する体制を構築する。	市内外の多機関と顔の見える関係を作ることができ、連携しやすい環境を整えることができた。	多機関協働会議について、検討ケースが減少している。新規事例を挙げやすい仕組み作りや、積極的なアウトリーチが必要である。	通年	支援会議 228 名 重層会議 228 名 包括化推進会議 24 名	・ふくし総合相談窓口 ※ふくし総合相談窓口実績参照 ・多機関協働会議 支援会議 12 回 228 名 重層的支援会議 12 回 228 名 相談包括化推進会議 1 回 24 名 ・アウトリーチ 31 件 ・参加支援 ※ひきこもりサロン実績参照

(3)福祉サービスの充実

支援を必要とする人が必要なサービスを利用できるよう、介護保険制度や社協会費、共同募金をもとに在宅での生活を支援する福祉サービスを提供します。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績					
① ●居宅介護支援事業 (※認定調査のみ◆)	居宅の要介護者が居宅サービス等を適切に利用できるよう、心身の状況、置かれている環境、要介護者の希望等を勘案し、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業者等との連絡調整を行い、介護保険施設等への入所を要する場合は、当該施設等への紹介を行う。	利用者の心身状況や生活環境、本人・家族の意向を踏まえた居宅サービス計画を作成し、適切なサービス利用につなげることができた。また、関係機関と連携しながら在宅生活の継続や、必要時の施設入所支援を行った。	利用者の多様化・重度化に伴い、よりきめ細やかなアセスメントや迅速な対応が求められている。また、サービス事業所や医療機関との連携強化、情報共有の質の向上が引き続き課題である。	●ケアプラン作成		●介護予防支援計画				●認定調査	
				月	利用者	月	利用者	月	利用者		
				4	68	4	9	4	2		
				5	63	5	10	5	2		
				6	67	6	13	6	0		
				7	46	7	7	7	0		
				8	47	8	7	8	0		
				9	48	9	6	9	0		
				10	52	10	6	10	0		
				11	51	11	6	11	0		
				12	49	12	6	12	0		
				1	52	1	5	1	0		
				2	50	2	5	2	0		
3	54	3	5	3	0						
合計	647	合計	85	合計	4						
② ●訪問介護事業	要介護者及び要支援者の方の自宅を訪問し、自立した在宅生活を送ることができるようサービスを提供する。	利用者のニーズに応えるため、土曜日も営業し、常勤職員による訪問を開始した。市内ケアハウスの訪問事業終了に伴い、利用者を引き継ぎ、サービスを継続することができた。	生活援助が多くを占め、身体介護の割合が依然として少ない状況。身体介護を含め、新規の利用者の獲得に努めていく。	●訪問介護事業：要介護1～5							
				月	利用者	身体介護	生活援助	身体生活	乗降	訪問回数	
				4	22	12	143	60	6	221	
				5	21	19	140	68	8	235	
				6	20	34	125	57	6	222	
				7	21	52	136	64	4	256	
				8	24	38	163	69	6	276	
				9	22	37	170	28	8	243	
				10	23	39	159	33	6	237	
				11	20	38	116	35	8	197	
				12	22	47	149	23	5	224	
				1	23	43	137	35	8	223	
				2	28	53	161	24	6	244	
				3	27	31	186	21	6	244	
				合計	273	443	1,785	517	77	2,822	
				●介護予防訪問介護事業：要支援1・2							
				月	利用者	週1	週2	週3	事業対象者 人数	訪問型A 回数	訪問回数
				4	22	48	66	11	0	0	129
				5	22	53	61	14	0	0	133
				6	25	59	69	12	0	0	144
				7	24	64	73	12	0	0	153
				8	26	71	66	12	0	0	153
				9	25	72	76	10	0	0	162
10	27	59	102	9	0	0	176				
11	26	59	70	12	0	0	146				
12	26	55	87	21	0	0	168				
1	26	57	68	11	0	0	141				
2	22	54	53	12	0	0	130				
3	22	62	69	0	0	0	142				
合計	293	713	860	136	0	0	1,777				

<p>③ ◆障がい福祉サービス事業</p>	<p>障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業（居宅事業）を行い、日常生活を送れるようサービスを提供する。</p>	<p>障がいに関する研修を行い、障がいに対する理解を深めることができた。利用者もしばらく同数で推移していたが、1名増となった。</p>	<p>障がいの理解を更に深め、今後も利用者の受け入れができるよう、体制を整えていく。</p>	<p>●障害者総合支援法：身体・知的・精神障がい者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">月</th> <th rowspan="2">利用者</th> <th colspan="3">内訳</th> <th rowspan="2">訪問回数</th> </tr> <tr> <th>身体</th> <th>知的</th> <th>精神</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>59</td></tr> <tr><td>5</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>55</td></tr> <tr><td>6</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>55</td></tr> <tr><td>7</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>56</td></tr> <tr><td>8</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>52</td></tr> <tr><td>9</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>54</td></tr> <tr><td>10</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>59</td></tr> <tr><td>11</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>53</td></tr> <tr><td>12</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>65</td></tr> <tr><td>1</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td>48</td></tr> <tr><td>2</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>52</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td><td>56</td></tr> <tr><td>合計</td><td>38</td><td>0</td><td>0</td><td>38</td><td>664</td></tr> </tbody> </table>				月	利用者	内訳			訪問回数	身体	知的	精神	4	3	0	0	3	59	5	3	0	0	3	55	6	3	0	0	3	55	7	3	0	0	3	56	8	3	0	0	3	52	9	3	0	0	3	54	10	3	0	0	3	59	11	3	0	0	3	53	12	3	0	0	3	65	1	3	0	0	3	48	2	4	0	0	4	52	3	4	0	0	4	56	合計	38	0	0	38	664																															
月	利用者	内訳			訪問回数																																																																																																																								
		身体	知的	精神																																																																																																																									
4	3	0	0	3	59																																																																																																																								
5	3	0	0	3	55																																																																																																																								
6	3	0	0	3	55																																																																																																																								
7	3	0	0	3	56																																																																																																																								
8	3	0	0	3	52																																																																																																																								
9	3	0	0	3	54																																																																																																																								
10	3	0	0	3	59																																																																																																																								
11	3	0	0	3	53																																																																																																																								
12	3	0	0	3	65																																																																																																																								
1	3	0	0	3	48																																																																																																																								
2	4	0	0	4	52																																																																																																																								
3	4	0	0	4	56																																																																																																																								
合計	38	0	0	38	664																																																																																																																								
<p>④ ◆通所介護事業</p>	<p>要介護者及び要支援者に対し、送迎・レクリエーション・機能回復訓練・食事・入浴のサービスを提供する。</p>	<p>管理者を中心に、デイサービスの時間を一日楽しく利用者が過ごせるよう、レクリエーション等（イベント）を工夫して取る組み、成果に繋がられた。</p>	<p>利用者が減少している状況の中、成果のあがったレクリエーション等（イベント）の充実と、その他に目玉となる取り組みをすることにより、利用者の増加に繋げる必要がある。</p>	<p>●利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">月</th> <th colspan="4">要介護1～5</th> <th colspan="2">要支援1・2</th> <th rowspan="2">事業対象者</th> </tr> <tr> <th>利用者</th> <th>回数</th> <th>入浴</th> <th>送迎</th> <th>利用者</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>30</td><td>309</td><td>253</td><td>599</td><td>14</td><td>58</td><td>0</td></tr> <tr><td>5</td><td>31</td><td>339</td><td>323</td><td>650</td><td>13</td><td>58</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>31</td><td>308</td><td>252</td><td>614</td><td>11</td><td>54</td><td>0</td></tr> <tr><td>7</td><td>30</td><td>319</td><td>258</td><td>637</td><td>12</td><td>64</td><td>0</td></tr> <tr><td>8</td><td>31</td><td>323</td><td>269</td><td>645</td><td>13</td><td>54</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>30</td><td>318</td><td>249</td><td>634</td><td>12</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>30</td><td>286</td><td>228</td><td>572</td><td>11</td><td>52</td><td>0</td></tr> <tr><td>11</td><td>32</td><td>281</td><td>206</td><td>562</td><td>10</td><td>42</td><td>0</td></tr> <tr><td>12</td><td>31</td><td>290</td><td>219</td><td>580</td><td>11</td><td>56</td><td>0</td></tr> <tr><td>1</td><td>29</td><td>262</td><td>196</td><td>524</td><td>10</td><td>47</td><td>0</td></tr> <tr><td>2</td><td>30</td><td>243</td><td>177</td><td>443</td><td>8</td><td>37</td><td>0</td></tr> <tr><td>3</td><td>31</td><td>259</td><td>212</td><td>473</td><td>8</td><td>44</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>366</td><td>3,537</td><td>2,842</td><td>6,933</td><td>133</td><td>616</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>				月	要介護1～5				要支援1・2		事業対象者	利用者	回数	入浴	送迎	利用者	回数	4	30	309	253	599	14	58	0	5	31	339	323	650	13	58	0	6	31	308	252	614	11	54	0	7	30	319	258	637	12	64	0	8	31	323	269	645	13	54	0	9	30	318	249	634	12	50	0	10	30	286	228	572	11	52	0	11	32	281	206	562	10	42	0	12	31	290	219	580	11	56	0	1	29	262	196	524	10	47	0	2	30	243	177	443	8	37	0	3	31	259	212	473	8	44	0	合計	366	3,537	2,842	6,933	133	616	0
月	要介護1～5				要支援1・2		事業対象者																																																																																																																						
	利用者	回数	入浴	送迎	利用者	回数																																																																																																																							
4	30	309	253	599	14	58	0																																																																																																																						
5	31	339	323	650	13	58	0																																																																																																																						
6	31	308	252	614	11	54	0																																																																																																																						
7	30	319	258	637	12	64	0																																																																																																																						
8	31	323	269	645	13	54	0																																																																																																																						
9	30	318	249	634	12	50	0																																																																																																																						
10	30	286	228	572	11	52	0																																																																																																																						
11	32	281	206	562	10	42	0																																																																																																																						
12	31	290	219	580	11	56	0																																																																																																																						
1	29	262	196	524	10	47	0																																																																																																																						
2	30	243	177	443	8	37	0																																																																																																																						
3	31	259	212	473	8	44	0																																																																																																																						
合計	366	3,537	2,842	6,933	133	616	0																																																																																																																						
<p>⑤ ●実習生受入れ</p>	<p>介護・看護等実習生を積極的に受け入れ、福祉を担う人材育成を行う</p>	<p>看護学生の実習受入を再開することができ、利用者の方にも好評であり、職員もケアの向上や振り返りができた。</p>	<p>感染症予防対策を強化して受入する。</p>	<p>通年 実習生 40名</p>	<p>●社会福祉士実習 0名 ●介護福祉士実習 0名 ●看護実習 0名 ヘルパー 20名 デイサービス 20名</p>																																																																																																																								
<p>⑥ ●高齢者・子ども交流事業</p>	<p>子どもと高齢者のふれあい機会を増やし、体験学習や交流の機会を設ける</p>	<p>野菜の収穫や食事を一緒にすることで、交流も深まり楽しい時間を過ごしていた。</p>	<p>交流先を増やせるよう、交流内容を考え支援センターをアピールする。</p>	<p>通年 参加者 95名</p>	<p>●デイサービス交流 30名 〔 渡良瀬保育園との交流会 （5歳児15名 4歳児15名） 〕 ●サロン・わくわくらんど交流 65名 〔 北成島区 いこいの場（3回実施） サロン33名 わくわく16組（32名） 〕</p>																																																																																																																								
<p>⑦ ●紙おむつ給付事業 ⑧ ◆尿もれパット給付事業</p>	<p>市内に居住かつ住所を有する要介護者及び障がい者等で在宅生活を送るうえで紙おむつ等を必要とする方に紙おむつ等を給付する。</p>	<p>課税世帯は年2回、非課税世帯は年4回実施ができています。民生委員やケアマネジャーの協力もあり、申請方法等が市民に浸透して来ている。</p>	<p>申請手順の簡素化や選択する商品の明確化を図った。オムツの価格や配送コストが継続して高騰しているため配布内容や配布回数等の再検討が必要である</p>	<p>給付日 R7.6.24～27 R7.9.24～15 R7.12.9～12 R8.3.9～10</p>	<p>給付者 612名</p> <p>【第1回】 290名 課税 131名 非課税 159名 (内新規 42名) 【第2回】 181名 課税 12名 非課税 169名 (内新規 29名) 【第3回】 87名 課税 35名 非課税 52名 (内新規 30名) 【第4回】 54名 課税 0名 非課税 54名 (内新規 24名)</p>																																																																																																																								

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績																																																																									
⑨ ◆寝具乾燥殺菌事業	概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に寝具の丸洗い乾燥殺菌を行う。	利用者対応等はスムーズに行うことができています。対象者が少数であることから、民児協の負担軽減のため、対象者へ直接事業の周知を行った。	利用者数の減少。 利用者からの個別のニーズにこたえることができない。(洗剤の種類等)	実施日 5/20~5/27 9/30~10/7 1/20~1/27	利用者 37名	【第1回】 14名 【第2回】 11名 【第3回】 12名																																																																									
⑩ ◆会食サービス	高齢者世帯又は日中高齢者のみの世帯を対象に月1回、地域の公民館等で昼食会を開催し、高齢者の孤独感解消につなげる。	高齢者の外出の機会や地域社会との交流の場を提供し、高齢者の孤独感解消につながっている。	ボランティアの減少及び高齢化に伴い実施会場が減少している。 新規立ち上げの相談があっても協力者を集めることができない。 物価高騰への対応を検討する必要がある。	通年	参加者 338名	●利用実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>会場</th> <th>対象者</th> <th>ボランティア</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>1</td><td>14</td><td>10</td><td>24</td></tr> <tr><td>5</td><td>2</td><td>23</td><td>20</td><td>43</td></tr> <tr><td>6</td><td>2</td><td>35</td><td>20</td><td>55</td></tr> <tr><td>7</td><td>1</td><td>9</td><td>12</td><td>21</td></tr> <tr><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>2</td><td>22</td><td>16</td><td>38</td></tr> <tr><td>10</td><td>2</td><td>22</td><td>20</td><td>42</td></tr> <tr><td>11</td><td>1</td><td>12</td><td>10</td><td>22</td></tr> <tr><td>12</td><td>1</td><td>14</td><td>10</td><td>24</td></tr> <tr><td>1</td><td>1</td><td>13</td><td>9</td><td>22</td></tr> <tr><td>2</td><td>1</td><td>14</td><td>10</td><td>24</td></tr> <tr><td>3</td><td>1</td><td>14</td><td>9</td><td>23</td></tr> <tr><td>合計</td><td>15</td><td>192</td><td>146</td><td>338</td></tr> </tbody> </table>	月	会場	対象者	ボランティア	合計	4	1	14	10	24	5	2	23	20	43	6	2	35	20	55	7	1	9	12	21	8	0	0	0	0	9	2	22	16	38	10	2	22	20	42	11	1	12	10	22	12	1	14	10	24	1	1	13	9	22	2	1	14	10	24	3	1	14	9	23	合計	15	192	146	338			
月	会場	対象者	ボランティア	合計																																																																											
4	1	14	10	24																																																																											
5	2	23	20	43																																																																											
6	2	35	20	55																																																																											
7	1	9	12	21																																																																											
8	0	0	0	0																																																																											
9	2	22	16	38																																																																											
10	2	22	20	42																																																																											
11	1	12	10	22																																																																											
12	1	14	10	24																																																																											
1	1	13	9	22																																																																											
2	1	14	10	24																																																																											
3	1	14	9	23																																																																											
合計	15	192	146	338																																																																											
⑪ ◆配食サービス	高齢者世帯又は日中高齢者のみの方を対象に、高齢者の見守りを兼ねて昼の弁当を配達する。	本人不在時に緊急連絡先やケアマネジャー等に連絡し、スムーズに利用者の安否確認ができるようになった。	キャンセルの締め切り時間等の理解が得られないことがある。 利用料支払が銀行払いのみであるため、利用者の負担が大きいため、支払方法の検討が必要である。 (苦情多数のため、行政へ報告済み)	月~金曜日	利用者 1,664名	●利用実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>配達</th> <th>利用者</th> <th>食数</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>21</td><td>124</td><td>1,846</td><td>87.9</td></tr> <tr><td>5</td><td>20</td><td>128</td><td>1,816</td><td>90.8</td></tr> <tr><td>6</td><td>21</td><td>136</td><td>1,957</td><td>93.2</td></tr> <tr><td>7</td><td>22</td><td>144</td><td>2,098</td><td>95.4</td></tr> <tr><td>8</td><td>16</td><td>138</td><td>1,523</td><td>95.2</td></tr> <tr><td>9</td><td>20</td><td>139</td><td>1,866</td><td>93.3</td></tr> <tr><td>10</td><td>22</td><td>144</td><td>2,037</td><td>92.6</td></tr> <tr><td>11</td><td>18</td><td>138</td><td>1,666</td><td>92.6</td></tr> <tr><td>12</td><td>20</td><td>144</td><td>1,908</td><td>95.4</td></tr> <tr><td>1</td><td>19</td><td>146</td><td>1,831</td><td>96.4</td></tr> <tr><td>2</td><td>18</td><td>142</td><td>1,689</td><td>93.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>21</td><td>141</td><td>1,864</td><td>88.8</td></tr> <tr><td>合計</td><td>238</td><td>1,664</td><td>22,101</td><td>1,115</td></tr> </tbody> </table>	月	配達	利用者	食数	平均	4	21	124	1,846	87.9	5	20	128	1,816	90.8	6	21	136	1,957	93.2	7	22	144	2,098	95.4	8	16	138	1,523	95.2	9	20	139	1,866	93.3	10	22	144	2,037	92.6	11	18	138	1,666	92.6	12	20	144	1,908	95.4	1	19	146	1,831	96.4	2	18	142	1,689	93.8	3	21	141	1,864	88.8	合計	238	1,664	22,101	1,115			
月	配達	利用者	食数	平均																																																																											
4	21	124	1,846	87.9																																																																											
5	20	128	1,816	90.8																																																																											
6	21	136	1,957	93.2																																																																											
7	22	144	2,098	95.4																																																																											
8	16	138	1,523	95.2																																																																											
9	20	139	1,866	93.3																																																																											
10	22	144	2,037	92.6																																																																											
11	18	138	1,666	92.6																																																																											
12	20	144	1,908	95.4																																																																											
1	19	146	1,831	96.4																																																																											
2	18	142	1,689	93.8																																																																											
3	21	141	1,864	88.8																																																																											
合計	238	1,664	22,101	1,115																																																																											
⑫ ◆手話通訳者派遣事業	聴覚障がい者が社会生活においてコミュニケーションが困難な場合、情報保障とコミュニケーションの支援を行うため、手話通訳者を派遣する。	依頼内容が医療関係のみならず、教育や講演会等の依頼が増えている。それぞれに対応して派遣できている。	手話通訳者の人材育成及び資質の向上に努める。研修会も定期的に行うことが必要である。	通年	派遣件数 287件	●派遣実績 << 手話通訳者 16名 >> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">月</th> <th rowspan="2">利用者</th> <th colspan="3">内訳</th> </tr> <tr> <th>専任</th> <th>登録</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4</td><td>16</td><td>0</td><td>18</td><td>0</td></tr> <tr><td>5</td><td>21</td><td>3</td><td>18</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>27</td><td>2</td><td>25</td><td>0</td></tr> <tr><td>7</td><td>27</td><td>0</td><td>27</td><td>0</td></tr> <tr><td>8</td><td>22</td><td>2</td><td>20</td><td>0</td></tr> <tr><td>9</td><td>24</td><td>0</td><td>24</td><td>0</td></tr> <tr><td>10</td><td>33</td><td>1</td><td>32</td><td>0</td></tr> <tr><td>11</td><td>22</td><td>2</td><td>20</td><td>0</td></tr> <tr><td>12</td><td>20</td><td>0</td><td>20</td><td>0</td></tr> <tr><td>1</td><td>29</td><td>0</td><td>29</td><td>0</td></tr> <tr><td>2</td><td>19</td><td>0</td><td>19</td><td>0</td></tr> <tr><td>3</td><td>27</td><td>0</td><td>27</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>287</td><td>10</td><td>279</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	月	利用者	内訳			専任	登録	その他	4	16	0	18	0	5	21	3	18	0	6	27	2	25	0	7	27	0	27	0	8	22	2	20	0	9	24	0	24	0	10	33	1	32	0	11	22	2	20	0	12	20	0	20	0	1	29	0	29	0	2	19	0	19	0	3	27	0	27	0	合計	287	10	279	0
月	利用者	内訳																																																																													
		専任	登録	その他																																																																											
4	16	0	18	0																																																																											
5	21	3	18	0																																																																											
6	27	2	25	0																																																																											
7	27	0	27	0																																																																											
8	22	2	20	0																																																																											
9	24	0	24	0																																																																											
10	33	1	32	0																																																																											
11	22	2	20	0																																																																											
12	20	0	20	0																																																																											
1	29	0	29	0																																																																											
2	19	0	19	0																																																																											
3	27	0	27	0																																																																											
合計	287	10	279	0																																																																											

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
⑬ ◆要約筆者派遣事業	聴覚障がい者が社会生活においてコミュニケーションが困難な場合、情報保障とコミュニケーション支援を行うため要約筆者を派遣する。	今年度より筆者体験講座を実施することができた。また、要約筆記についてや実際にデモンストレーションを通して理解を深める講座を開催することができた。	要約筆記を利用する人が少ない。今後は講習会や体験講座を通してチラシ等での周知活動が必要である。	通年	派遣件数 0 件	●派遣実績 << 要約筆者 3 名 >> 内訳 期間 利用者 専任 登録 その他 上半期 0 0 0 0 下半期 0 0 0 0 年間 0 0 0 0 ※1時間以上の場合は複数名で対応
⑭ ●高齢者活動助成金 (歩行補助車購入費助成事業)	歩行補助車購入費の一部を補助する。	HP掲載により問合せが増えた。	特になし	通年	交付額 2,000 円	歩行補助車購入費一部補助 1 件 ※1件 2,000円
⑮ ●福祉用具貸出事業	短期間の介護や健康上の理由に車イスが必要なたに、貸出を行う。	必要とする福祉用具の貸し出しをすることができた。	備品の破損の有無を確認する必要がある。	通年	貸出数 543 件	・車いす貸出 204 件 ・ポータブルトイレ ※休止中 ・点字器 339 件

#### IV 安全・安心して生活できる環境づくり

##### (1) 権利擁護の充実

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、成年後見制度や日常生活自立支援事業などの権利擁護事業を普及・充実させます。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ◆たてばやし後見支援センター  R7重点事業	後見制度の相談窓口を行う。また、後見制度の普及活動及び市民後見人の養成を行う。	後見センターへの相談件数は増加している。各関係機関から後見の相談が多くなり、たてばやし後見支援センターの取組みが普及してきている。	市民後見人養成講座の受講生が減少傾向にある。また、養成講座受講後のフォローアップ研修の充実も図る必要がある。	通年	相談件数 32 件	相談件数 32 件 後見支援センター運営委員会 4 回 19 人 市民後見人養成講座事前セミナー R7.8.8 37 名 市民後見人養成講座 期日入力 10/18.11/8.11/22.12/13.1/17 修了者 3 名 フォローアップ研修 1 回目 実施日 8月8日 37 人 2 回目 実施日 11月28日 13 人 3 回目 実施日 2月5日 17 人 4 回目 実施日 3月30日 14 人 市民後見人 4 人
② ●法人後見事業	法人として後見人となり長期間の継続・組織による困難事例の対応、ネットワークを活用した支援を行う。	法人として後見人となっている困難事例に対し情報共有をおこなうことができた。	後見支援員の人数が少ないため、後継育成のためにも養成が必要。	通年	受任件数 3 件	受任件数 3 件 (累計 32 件) 法人後見運営委員会 4 回 19 人 後見支援員 7 人
③ ■日常生活自立支援事業	日常的金銭管理を行うことで、高齢者及び障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する。	新規相談も増えている。多機関とも連携し実施できている。	前年度で終了となった支援員もあり、スムーズな支援がおこなえるよう調整が必要と考える。	通年	利用者 66 名	相談件数 654 件 実利用者数 66 名 新規契約件数 9 件 終了件数 5 件 生活支援員数 19 名

(2)生活困窮者等への自立支援

生活の困りごとや不安を抱え、経済的に困窮している世帯に対して相談・支援・関係機関との連携を持って支援する体制を整えます。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ◆フードドライブ事業 (生活困窮者等のための地域づくり事業)	フードドライブ事業として、地域住民や企業、団体より食料品や日用品をり、生活困窮者へ相談を受けた上で配布し、他支援に繋げる。	周知先を幼保こども園を追加したことにより新規の利用が増え、ニーズ発掘に繋げることができた。	食料品の確保や賞味期限の関係から他機関との体制構築が必要。	通年 及び年3回の配布相談会	配布件数 134 件 366 名	フードドライブ事業 134 世帯 366 名 寄付件数 124 件 相談配布会 3 回 92 世帯 283 名
② ●生活困窮者救済事業	生活困窮している方を対象に、緊急かつ一時的支援として食糧及びライフラインの物資支援を行う。	物資支援だけでなく、根底の課題を相談を通じて把握し適切な支援に繋がるよう他機関との連携を図った。	食糧支援についてはフードドライブとの違いを明確にし、そちらでは対応できないライフラインについて事業周知が必要。	通年	支援件数 3 件	食糧支援 1 世帯 3 名分 ライフライン 2 世帯 電気 1 件 ガス 1 件 水道 0 件
③ ■生活福祉資金貸付制度	低所得者・障がい者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的に貸付を行う。	利用希望者に事業説明を行い、必要な場合は県社協に問い合わせをし、適切に支援をすることができた。	コロナ特例のフォローアップ支援が上手くできていない。本則とコロナ特例の支援を円滑にできる取り組みが必要である。	通年	相談件数 132 件	通常貸付 申請 14 件 相談 132 件 「内訳」 就学支援資金 6 件 緊急小口貸付資金 5 件 総合支援資金 0 件 不動産担保貸付資金 1 件 福祉資金 2 件 特例貸付（コロナによる収入減）相談 34 件
④ ●交通遺児育英資金給付金	生計中心者が交通事故により死亡又は障害により所得を失う若しくは著しく減少した市内小中高校生に対し資金を給付する。	申請者なし。	周知を主にホームページ上で行っているが、認知度が低いため、民児協定例会にて周知するなどの工夫も必要。	通年	交付件数 0 件	交付件数 0 件 小学生 0 件 (3,000円/月) 中学生 0 件 (4,000円/月) 高校生 0 件 (5,000円/月) 交付額 0 円

### (3)防災体制の充実

災害時に備え、災害ボランティアの育成を進めるとともに、災害時における災害ボランティアセンターの設置や派遣体制を確保していきます。また、福祉避難所開設に向けた訓練も実施します。

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ▲災害ボランティアセンター設置訓練 ② ▲災害ボランティア養成講座	災害ボランティアの育成を進めるとともに災害時の災害ボランティアセンター設置・訓練及びボランティアの派遣体制確保を行う。	各地区の方達が集まりハザードマップを基に、実際に災害が起きた時の備えを共有することができた。	ボランティアスクールと兼ねて開催をしたが、小中学生への関心が少なかった。	実施日 R7.11.15	70名	内容 「経験したことない大雨 その時どうする？」 場所 館林市文化会館小ホール 参加者 70名
③ ●福祉避難所設置訓練/自主防災組織	災害発生時に福祉避難所を迅速に開設できるように、物資の保管場所及び内容確認訓練を行う。	防災物資の保管場所とその個数。物資の取り扱いについて確認することができた。	参加人数を増やして、より多くの職員が認知していく必要がある。	実施日 12月10日	4名	内容 防災物資の種類個数場所の確認 参加者 4名

## V 社協

●社協自主事業 ▲市補助事業 ◆市受託事業 ■県社協受託事業 ★指定管理

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
① ●理事会	理事8名・監事2名の合計10名で組織し、法人業務の決定機関である。	社会福祉法改正により開催回数が制限されたが、限られた開催の中でも様々な意見を交わして事業運営に反映することができた。	様々なご意見をいただけるよう、頻繁な情報提供と事業内容の詳細説明が必要である。	開催日 R7.5.28  R7.6.16  R7.10.15  R8.3.6	出席者 54名	内容 第1回 13名 ・ 前回議事録の承認 ・ 事業報告、決算報告、監査報告 ・ 定時評議員会の開催 ・ 評議員候補者の推薦 ・ 評議員選任解任委員の選任 ・ 評議員選任解任委員会の開催 ・ 理事及び監事候補者の推薦 第2回 13名 ・ 会長、副会長、常務理事の選定 ・ 前回議事録の承認 第3回 14名 ・ 前回議事録の承認 ・ 表彰候補者の選考 第4回 14名 ・ 前回議事録の承認 ・ 評議員会の開催 ・ 評議員候補者の推薦 ・ 評議員選任解任委員会の開催 ・ 評議員選任解任委員の選任 ・ 事業計画、収支予算 ・ 役員等賠償責任保険契約 ・ 社協だより指名競争入札の実施 ・ 社協だより指名競争入札業者の選定
② ●評議員会	27名の評議員をもって組織し、法人の議決機関である。	事業の適正な執行と意思疎通ができるよう、支部長会議を開催し補完できた。	共通理解を深めるため、事業運営の詳細説明が必要である。	開催日 R7.6.16  R8.3.19	出席者 61名	内容 第1回 30名 ・ 前回議事録の承認 ・ 事業報告、決算報告、監査報告 第2回 31名 ・ 前回議事録の承認 ・ 事業計画、収支予算 ・ 役員等賠償責任保険契約

事業名	内容	成果	課題	開催日	参加者等	実績
③ ★適正な施設運営	温水プール・浴室・部屋の貸館・マイクロボスの運行を行う。	市民サービスを第一に考え、営業を行い多くの方々にご利用いただいた。	市民サービスを第一に考えるが、公平なサービス提供が原則となるため万人が満足するサービスを提供するのが難しい。	開催日 R7.6.24  R8.2.20	出席者 33名  参加者 0名	総合福祉センター運営委員会 第1回 14名 令和6年度利用実績、令和7年度事業計画等 第2回 19名 令和7年度利用実績、利用者アンケート ワンポイントレッスン 0回 0名 うたごえ広場  ※ふれあい通りや売店を利用した 居場所づくり交流事業参照

●利用実績

温水プール							
月	一般		高齢者		小・中学生		減免者
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	
4	346	21	1,879	23	36	1	160
5	471	38	1,828	24	51	11	190
6	603	50	1,892	26	108	3	214
7	832	51	2,429	34	169	15	279
8	926	79	2,588	33	241	35	344
9	624	43	2,347	35	60	3	209
10	502	36	2,076	29	46	1	182
11	530	30	1,766	18	50	2	152
12	347	22	1,628	19	23	1	140
1	451	28	1,811	20	45	2	156
2	536	25	1,814	14	68	1	165
3	448	16	1,774	16	43	0	152
合計	6,616	439	23,832	291	940	75	2,343

バス	
月	利用者
4	209
5	204
6	235
7	230
8	92
9	174
10	314
11	213
12	161
1	115
2	272
3	221
合計	2,440

浴室					
月	60歳以上		60歳未満		減免者
	市内	市外	市内	市外	
4	666	4	63	3	63
5	615	13	46	0	61
6	667	8	37	1	43
7	633	2	43	2	48
8	755	0	45	0	50
9	644	6	52	2	63
10	699	16	63	1	69
11	654	10	79	4	91
12	778	0	72	0	67
1	777	2	74	0	82
2	839	2	73	0	70
3	935	1	96	1	101
合計	8,662	64	743	14	808

④ ★売店	喫茶「たぬき」を6月よりリニューアルオープンをし、軽食を販売している。	常連客の方も多く、たくさんの方にご利用いただいた。広報活動では、上毛新聞に掲載された。	赤字状態が続いているため、営業形態を変更する必要がある。	営業日 平日 11時～13時  定休日 土日祝 第1・第3月曜	来客数 1,216名
-------	-------------------------------------	---	------------------------------	---	---------------

●売上実績		
月	来客数	売上金額
4		12,774
5		61,890
6	147	189,453
7	148	101,201
8	197	115,078
9	155	136,370
10	134	62,150
11	103	49,700
12	107	57,200
1	86	40,500
2	89	43,150
3	50	23,550
合計	1,216	893,016